

体育専門学群

体育専門学群

分野別専門科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
W150011	スポーツ哲学	1	1.0	1	春AB	金4	体育・芸術エリア	深澤 浩洋, 坂本 拓弥	「スポーツとは何か」をめぐって、その概念について講ずる。スポーツを構造として捉え、その知的契機、身体的契機、感性的契機から論ずるとともに、スポーツの關係的な在り方にも言及する。	対面 体育専門学群1年生、4年生及び、教職（保健体育）履修者を優先			体育専門学群	
W150021	スポーツ倫理学	1	1.0	3	春AB	木1	体育・芸術エリア	坂本 拓弥	スポーツをめぐる倫理的諸問題（暴力、ドーピング、差別等）について、スポーツ哲学分野における基本的な論点を学ぶとともに、具体的な事例の考察を通して、受講生自身の実践的な思考を深めていく。	対面			体育専門学群	
W150041	武道学II	1	1.0	3	秋AB	木2	体育・芸術エリア	酒井 利信, 堀川 峻	武道学Iの内容を踏まえ、武道における技術論、心法論、身心關係論等を、画像・映像を援用しつつ学習する。このことにより世界的な視座から、武道の日本文化としての独自性を理解する。	武道学Iの単位を取得していること。 対面			体育専門学群	
W150061	現代スポーツ論	1	1.0	3	秋C	集中		下竹 亮志	現代スポーツの特徴と課題について、スポーツと身体文化、スポーツと政治、スポーツと経済、スポーツと多様性といった多面的な視点から考察する。特に、メディア、人種、ジェンダー、ナショナリズム、マイノリティなどをめぐる現代の諸現象とスポーツの關係について、社会的な視座から議論する。	西暦奇数年度開講。 対面			体育専門学群	
W150071	現代スポーツ論II(産業社会学)	1	1.0	3	秋C	木3,4			高度化及び大衆化の両側面から現代スポーツの発展のメカニズムを分析し、政治、経済、文化の諸問題について概説する。特に急速にスポーツ文化の産業化が進んでいる現代の現象を中心に事例を用いて解説する。	対面			体育専門学群	
W150091	メンタルトレーニングの原理と方法	1	1.0	3	春AB	木3	体育・芸術エリア	兩宮 怜	競技力向上あるいは実力発揮のための心理スキルトレーニング(メンタルトレーニング)の理論と方法を学ぶ。	対面			体育専門学群	
W150111	運動学習心理学	1	1.0	3	秋AB	木1	体育・芸術エリア	國部 雅大	運動学習における学習者・指導者のための心理技法と理論、および人間の運動制御に関するモデルや原理について講義する。	対面			体育専門学群	
W150121	スポーツ健康心理学	1	1.0	3	春AB	木3	体育・芸術エリア	兩宮 怜	適切な身体活動によるメンタルヘルスの増進と、心身のセルフコントロールによるスポーツパフォーマンスの向上に関して、その理論と実践法を具体的に解説する。	対面			体育専門学群	
W150131	スポーツと企業	1	1.0	3	春AB	金5	体育・芸術エリア	嵯峨 寿	企業にとってのスポーツやアスリートの価値について、その具体的な内容、訴求方法、市場効果などをユニークな事例を参考にしながら理解を深める。	対面			体育専門学群	
W150141	レジャー論	1	1.0	3	秋AB	火4	体育・芸術エリア	仲澤 真	レジャーの概念、歴史を概説し、現代社会におけるレジャーの意味を社会の変化の中で考え、これからのライフスタイルとレジャーの機能、スポーツの役割について概説する。	体育専門学群生に限る。 対面			体育専門学群	
W150151	スポーツ政策学II	1	1.0	2	秋AB	水3	体育・芸術エリア	齋藤 健司, 成瀬 和弥	スポーツ政策に関する主要な政策課題を取り上げ、それと関連するスポーツ政策学の基礎的理論的理解を深める。	社会教育主事 対面			体育専門学群	
W150161	運動観察論	1	1.0	3	秋AB	金3	体育・芸術エリア	中村 剛	運動指導は学習者の動きを観察するところから始められる。運動観察を通じて学習者の動きに何を指摘することができるのかによって、その後の指導の成否が大きく左右される。したがって、運動観察能力を向上させることは指導者を養成する上で極めて重大な課題となる。本講義においては、スポーツ運動学の立場から、運動観察能力とはどのようなもので、それはどのような専門的能力によって支えられているのかということについて概説する。	対面			体育専門学群	
W150171	スポーツ技術論	1	1.0	3	春AB	火2	体育・芸術エリア	新竹 優子	スポーツにおける技術概念およびスポーツ技術の基本問題をスポーツ運動学の立場から概説する。とくに、スポーツの技術を「できる」と密接に關係している身体知の視点から取り上げるとともに、スポーツ技術の現象学的性格について論じる。	対面			体育専門学群	
W150181	スポーツ戦術論	1	1.0	2	秋C	水1,2	体育・芸術エリア	會田 宏	スポーツの実現場で用いられている戦術理論について学習する。また、コーチや選手の経験から生まれた、勝つための戦い方の実践例を通して、スポーツにおける戦術力の構造について学習する。	体育専門学群2年生以上に限る。 対面			体育専門学群	
W150191	身体表現論	1	1.0	3	春AB	木2	体育・芸術エリア	寺山 由美	多様に広がる身体運動文化の表現について学習する。具体的には、日常的な身体表現、身体表現の中の美的要素、スポーツやダンスに見られる身体表現などの視点について、文脈・VTRを通して理解し、それぞれ關心のある運動種目におけるパフォーマンス向上に活用するための能力を養う。	対面			体育専門学群	
W150211	動きの解剖学	1	1.0	3	春AB	木3	体育・芸術エリア	平田 浩祐	運動器(筋、骨格、神経系)が連携してどのようにして運動を引き起こすのかということを解剖学、生理学、力学の観点から学ぶ。(キーワード:筋、骨、神経)	体育専門学群の解剖学を受講していること を前提に、本授業を実施する。但し、体育専門学群の解剖学を受講していなくても、運動器(骨や筋)の解剖学的な基礎知識を有する場合は受講可とする。 対面	△	体育専門学群の解剖学を受講していることを前提に、本授業を実施する。但し、体育専門学群の解剖学を受講していなくても、運動器(骨や筋)の解剖学的な基礎知識を有する場合は受講可とする。	体育専門学群	
W150221	運動適応生理学	1	1.0	3	秋AB	木1	体育・芸術エリア	西保 岳, 武政 徹, 藤井 直人	運動時や運動トレーニング後に生ずる生理的適応反応について、分子機構(ミクロ)から運動パフォーマンス(マクロ)までの範囲での生理的メカニズムについて概説する。	運動生理学の単位を取得していること 対面			体育専門学群	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
W150231	コンディショニングのスポーツ生化学	1	1.0	3	春AB	金3	体育・芸術エリリア	岡本 正洋, 松井 崇	競技パフォーマンスと健康の維持・増進に有用なスポーツコンディショニングのあり方を、運動時の代謝、内分泌、自律神経活動の応答や適応変化から考察する。	対面			体育専門学群	
W150251	発育発達学	1	1.0	3	秋AB	木1	体育・芸術エリリア		各自の体格発育データの分析を通して、体格の発育と体力・運動能力の発達について理解し、現代社会における体力・運動能力の向上について考える。	対面			体育専門学群	
W150261	パフォーマンスと体力	1	1.0	3	春AB	金3	体育・芸術エリリア	小野 誠司, 木塚 朝博, 鍋倉 賢治	体力学領域の基礎的知識を復習しながら、それが生活のパフォーマンスに、競技のパフォーマンスに、どのように結びつくのかを解説することによって、各自に必要な体力について見直し力を習得する。	体力学の単位を取得していること。 対面			体育専門学群	
W150271	運動栄養学I	1	1.0	3	春AB	火4	体育・芸術エリリア	麻見 直美, 下山 寛之	競技力を高めるための食生活、および健康の維持増進と食生活について学ぶ	240人を超える場合は、運動栄養学1履修済の学生を優先する 対面			体育専門学群	
W150291	アンチ・ドーピング	1	1.0	3	春AB	金4	体育・芸術エリリア	渡部 厚一, 齋藤 健司	スポーツ界の暗部ともいべきドーピング。わが国は国際的にはドーピング違反は少ないものの、年間数件の陽性のみられる。ドーピングの現状、歴史、注意点などについて解説する。	240名上限 体育専門学群生優先 6科目、対面			体育専門学群	
W150301	スポーツ医学II(内科系)	1	1.0	3	秋AB	月1	体育・芸術エリリア	渡部 厚一, 中田 由夫, 小崎 恵生	スポーツ医学(内科系)の基礎知識を学び、運動・スポーツが疾患・症候の予防・治療・リハビリテーションに果たす役割や競技力向上に関連するコンディショニングについて学習する	対面			体育専門学群	
W150311	スポーツ医学III(外科系)	1	1.0	3	秋AB	木2	体育・芸術エリリア	高橋 英幸	健康スポーツ及び競技スポーツが引き起こす各外傷・障害について医学的見地から解説し、その治療の方法・方針や予後そして予防対策について講義する。	対面			体育専門学群	
W150321	スポーツバイオメカニクスII	1	1.0	3	春AB	火3	体育・芸術エリリア	藤井 範久	スポーツ運動をバイオメカニクス的に理解する場合には必要な基礎知識を身につけるとともに、走、跳、投、打をはじめとするスポーツ運動のバイオメカニクスを理解する。	対面			体育専門学群	
W150351	精神保健学	1	1.0	3	夏季休業中	集中	体育・芸術エリリア	片岡 千恵, 武田 文	精神的健康の保持・向上と、精神的な不調の予防や対応について、基本的な知識を習得し、理解を深める。	200名を定員とします。 体育専門学群の3、4年生を優先とし、定員に達した場合、受講制限をすることがあります。 対面			体育専門学群	
W150361	健康社会学	1	1.0	3	秋AB	木3	体育・芸術エリリア	武田 文, 門間 貴史	我が国の子供から高齢者まで各ライフステージにおける健康問題の現状、それらと心理・行動・社会環境・保健政策・保健サービスとの関連性について学習する。これにより、健康の社会的決定要因と健康課題の解決に向けた支援策に関する基本知識を習得する。	対面			体育専門学群	

キャリア支援科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
W160011	スポーツ教育論	1	1.0	2	秋C	水1,2	体育・芸術エリリア	長谷川 悦示, 宮崎 明世, 佐藤 貴弘	スポーツと教育の関係論並びに体育の授業の観察法について理解する。	教職「大学が独自に設定する科目」に該当 対面			体育専門学群	
W160021	保健体育教師論	1	1.0	3	秋C	月3,4	体育・芸術エリリア	三田部 勇	保健体育教師の現場の状況や教育の抱える課題を知るとともに、教師になるために必要な教職及び専門知識について学び、求められる教師像を総合的に理解する。また、採用試験のための小論文の書き方、集団討論の対策について実践的に理解する。	教職「大学が独自に設定する科目」に該当 ※学群4年次、大学院で教員採用試験を受験する者に限る。 対面			体育専門学群	
W160051	武道教育論	1	1.0	3	秋AB	月4	体育・芸術エリリア	大石 純子	武道文化に関する知識を拡充しつつ、武道における教育的契機、武道の教育的意義について考える。	体育専門学群生に限る 対面			体育専門学群	
W160071	学校武道指導論	1	1.0	3	秋AB	火3	体育・芸術エリリア	有田 祐二, 岡田 弘隆, 増地 克之	武道(柔道、剣道、弓道)の学習指導における理論と実践方法について学ぶ。	教職「大学が独自に設定する科目」に該当 対面			体育専門学群	
W160081	指導者のための体力測定法	1	1.0	3	秋AB	金3	体育・芸術エリリア	小野 誠司, 木塚 朝博	一般に行われている体力診断テストや運動能力テストは、さまざまな問題点も含まれている。体力を構成する諸要素の測定方法を紹介し、その長所短所を理解することによって、体力の捉え方を考え直すためのきっかけを与える。	原則として、教育実習に参加予定の者に限る。 対面			体育専門学群	
W160091	体育指導のバイオメカニクス	1	1.0	3	秋AB	金4	体育・芸術エリリア	佐渡 夏紀	体育において各種の運動やスポーツを指導する場合の基礎となるバイオメカニクスや運動のバイオメカニクスの観察法や指導法を学ぶ。	教職「大学が独自に設定する科目」に該当 対面			体育専門学群	
W160111	学校保健学I	1	1.0	3	春AB	金1	体育・芸術エリリア	片岡 千恵	心の健康、性に関する問題、喫煙、飲酒、薬物乱用、食に関する問題、安全上の問題など、今日の児童生徒を取り巻く学校保健上の課題を事例的に取り上げて、その指導や対応の考え方の進め方について講義する。	学校保健学Iの単位修得者に限る。 対面			体育専門学群	
W160121	保健科内容論	1	1.0	3	秋C	月1,2	体育・芸術エリリア	片岡 千恵	保健科教育における学習指導要領の基本的な考え方について解説する。また、保健科教育の内容について演習的に指導する。	保健体育科教育法概論Iの単位修得者に限る。教職「大学が独自に設定する科目」に該当 対面	△	保健体育科教育法概論I履修済のこと。	体育専門学群	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
W160131	スポーツ統計学		1	1.0	3・4	秋AB	火1	体育・芸術工 リア	角田 憲治	スポーツ科学において専門性が高い統計手法を中心に、その理論と実際の解析方法について学ぶ。ここでは、ブートストラップ法による信頼区間の算出や、ROC解析、各種回帰分析、因子分析などを取り扱う。また、機械学習による分析の理論とプログラミングによる解析方法について実践的に学ぶ。	対面		体育専門学群	
W160151	体育・スポーツ行政学		1	1.0	3	秋C	金3,4	体育・芸術工 リア	成瀬 和弥	日本の体育・スポーツ行政の制度や組織等について解説するとともに、体育・スポーツをめぐる諸問題について行政的側面から検討する。	社会教育主事 対面		体育専門学群	
W160161	地方自治とスポーツ政策		1	1.0	3	秋C	月・金5	体育・芸術工 リア	成瀬 和弥	地方自治体(都道府県と市町村)におけるスポーツ政策について解説するとともに、そのあり方について考察する。また、仮想的自治体を例に、その自治体における具体的なスポーツ政策をグループごとに立案し、発表する。	社会教育主事 対面		体育専門学群	
W160171	スポーツ法学		1	1.0	3	春AB	火3	体育・芸術工 リア	齋藤 健司	スポーツに関する基本的な法律、判例、法制度及び法的諸問題を概説し、スポーツ法学の理論及びスポーツ法政策の現状と課題に関する基礎的な理解を深める。	社会教育主事 対面		体育専門学群	
W160191	サクセスフルエイジング論		1	1.0	2	秋C	水1,2	体育・芸術工 リア	大藏 倫博, 辻 大士	生活機能の観点に加え、身体的、社会的、産業政策的側面から、真に健康で快適な人生を送るために必要な方策を体育人の立場から考察する。	体育専門学群生に限る 西暦奇数年度開講。 対面		体育専門学群	
W160221	運動療法論		1	1.0	3	春AB	木1	体育・芸術工 リア	渡部 厚一, 柴田 愛, 中田 由夫, 小崎 恵生	内科的疾患およびその危険因子を有する生活習慣病保有者の運動処方：運動トレーニング・運動療法について学習する	対面		体育専門学群	
W160231	スポーツ傷害の予防とリハビリテーション		1	1.0	3	春AB	木2	体育・芸術工 リア	竹村 雅裕, 福田 崇	競技スポーツにおいて生じやすい外傷・障害に対するアスレティックリハビリテーションの基本的な手法・手段を学習する。競技特性に応じたアスレティックリハビリテーションのポイント及びスポーツ外傷・障害の予防に対する取り組みについて知識の拡充を図る。	対面		体育専門学群	
W160251	スポーツサービス業と経営戦略		1	1.0	3	秋C	集中	体育・芸術工 リア		スポーツサービス業を中心とした経営戦略についての基礎知識を理解するとともに、スポーツ経営組織が実際にとっている経営戦略を学ぶ。	対面		体育専門学群	
W160261	アダプテッド・スポーツ教育		1	1.0	3	秋AB	金2	体育・芸術工 リア	齊藤 まゆみ, 澤江 幸則	アダプテッド体育に関する基本的な理解と最近の知見について講義をし、教育方法を事例的に検討し理解を深める。	教職「大学が独自に設定する科目」に該当 対面		体育専門学群	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
W160271	スポーツ産業とイベント・プロモーション	1	1.0	3	秋C	木1,2	体育・芸術工リア	仲澤 眞, 嵯峨 寿	スポーツイベントが果たす社会的、経済的、文化的役割を理解するとともに、スポーツイベントの構造やプロモーション施策を概括することをおとし、スポーツ産業の主要な概念について学習する。	体育専門学群生に限る。対面授業にて開講する。			体育専門学群	
W160281	スポーツリスクマネジメント論	1	1.0	3	春AB	金1	体育・芸術工リア	齋藤 健司	スポーツに関するリスクマネジメントの基礎理論を概説するとともに、実際のスポーツ現場における安全対策、危機管理対策、事故防止策、法的防衛策、保険管理及び事件事故とその法的責任論に関する基礎知識の理解を深める。	社会教育主事 対面			体育専門学群	
W160301	オリンピック教育	1	1.0	4	秋AB	火2	体育・芸術工リア	大林 太郎	オリンピックはアスリートの競技という側面だけではなく、オリンピック・ムーブメントと絡んで、オリンピックの文化・教育性を含んだものである。それらについて学習し、これからのオリンピック・ムーブメントのあり方について展望する。	科目、対面			体育専門学群	
W160311	スポーツタレント発掘論	1	1.0	3	秋AB	月4	体育・芸術工リア	岡田 弘隆	オリンピックや世界選手権大会など、世界レベルのスポーツ大会において成功するためには、どのようなタレント(才能)が要求されるのか、どのような点に着目してタレントのある子どもを見出し、育てて行けばよいのか、などについて考える。	対面			体育専門学群	
W160321	スポーツ選手の栄養管理	1	1.0	2・3	秋AB	金2	体育・芸術工リア	麻見 直美, 下山 寛之	競技力を高めるための食事とトレーニング、休養(睡眠)の組み立て方とその実践について学ぶ	240人を超える場合は、運動栄養学I履修済の学生を優先する 対面			体育専門学群	
W160341	スポーツを通じた開発	1	1.0	2	秋AB	金1	体育・芸術工リア	山口 拓	国際社会では、地球化と地域化の2極化が進展し、国際的な相互依存が深化する世界構造に於いて、産官民学の個別・協働による「摩擦の改善」、「平和な日常」、「持続可能な発展」を目指す様々な取組が続けられている。本講義では、社会構造とスポーツの特性を概観し、スポーツの功罪を把握した上で、安定的な社会構造の構築を目指す「スポーツを通じた開発」の役割について考察する。	科目、対面 定員:150名			体育専門学群	
W160352	体育・スポーツ科学のための英語演習	2	1.0	4	秋AB	火5	体育・芸術工リア	佐藤 貴弘	This course covers the common English terminology associated with research in sport, exercise, and health science. Classes shall rely considerably on group work in providing opportunities for both written and (especially) oral communication.	対面 体育・スポーツ科学のための英語演習では、国際論文誌の読み方、キーワード探し、研究論文構成、実践的なジャーナル、参考文献の引用方法を学ぶことを目的とする。また英語演習の中でプレゼンテーションする能力を向上させる事を目的とする。講義は英語で行うが希望によっては、日本語で行う場合もある。			体育専門学群	
W160361	スポーツキャリア形成I	1	1.0	1	秋AB	火5	体育・芸術工リア	宮崎 明世, 中村 剛	体育・スポーツの専門家として社会で活躍するために、どのようなキャリアの選択肢があるか、どのような学習をすればそのキャリアにたどり着くのか、を具体的にかつ多面的に概説し、将来のキャリアに関心を向けるとともに、体育専門学群での学習内容の位置づけ及び体育・スポーツに関する理論と実践の関連を理解する。	必修 体育専門学群生のみ受講可 ODP、対面			体育専門学群	
W160381	スポーツキャリア形成III	1	1.0	3	秋AB	水2	体育・芸術工リア	三田部 勇	スポーツ・体育・健康に関する多様な専門領域で活躍している社会人との交流と、具体的な進路の検討および就職への準備を通して、自己と社会に関する理解を深め、自分の将来やキャリアについて実践的に考える。	必修 授業の後半は3クラスに分かれる。体育専門学群生のみ受講可 ODP、対面(オンライン併用型)			体育専門学群	
W160541	スポーツ企業ビジネス論	1	1.0	2・3	春C	集中	体育・芸術工リア	清水 諭	スポーツに係る企業ビジネスの現状を企業経営、組織・運営、マーケティング実践、用品開発、地域貢献の観点から実践現場の状況について事例を挙げながら講義をゲストスピーカーによって行う。学生はそれらの講義から課題を設定し、グループワークにより課題解決に向けた方法等を探求・発表し、教員及びゲストスピーカーからフィードバックを受ける。	対面			体育専門学群	

実技系科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
W170011	保健体育科(体力づくり運動)指導法	1	1.0	1	春AB	火1,2	体育・芸術工リア	小野 誠司, 麻見 直美, 下山 寛之, 雨宮 怜, 木越 清信, 谷川 聡, 榎本 靖士, 仙石 泰雄, 大藏 倫博, 辻 大士, 中田 由夫, 平田 浩祐, 長谷川 聖修, 角田 憲治	体育専門学群における主体的な問題解決能力を育成するための実習である。9種類の実習をから各自のデータを収集することを通して、PDCAサイクルを活用して、4年間での競技力向上や体格・体力・運動能力の向上方法について考える。	必修 対面			体育専門学群	
W171012	種目別コーチング演習I	2	1.0	1	秋C	金4,5	体育・芸術工リア	コーチング学分野担当教員	本授業は、自分の専門種目の理論を構造的に理解することで、基礎的なコーチング理論の獲得に寄与しようとするものである。具体的には、自分の専門種目のコーチングを支えて基礎づける「理論知」をこれまでの研究成果や事例を通して学習することで、コーチングを展開する上での基礎的基盤の形成を図ろうとするものである。	必修 対面			体育専門学群	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
W171022	種目別コーチング演習II		2	2.0	2	秋AB	金4,5	コーチング学分野担当教員	本授業は、種目ごとに分かれて、専門科目としての実技力のさらなる向上・発展という意図のもとに実施される。	必修。教室は決定後周知。ラグビー：春0,集中対面 教室は決定後周知対面			体育専門学群	
W171032	種目別コーチング演習III		2	2.0	3	秋AB	金4,5	コーチング学分野担当教員	本授業は、種目ごとに分かれて、専門科目としての指導力のさらなる向上・発展のための学修を行う。	対面			体育専門学群	

卒業研究領域科目【体育・スポーツ学分野】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
W180132	スポーツ社会学演習I		2	2.0	3	春AB 秋AB	水3 応談	体育・芸術工リア 清水 諭, 下竹 亮志	社会学、文化研究に関するテキストを用いながら、現代社会におけるスポーツや身体文化の状況を分析する視角を身につける。それとともに、各自の発表や質疑応答を通じて、議論する能力を高める。	対面	△	スポーツ社会学を履修しているものに限る。	体育専門学群	

卒業研究領域科目【コーチング学分野】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
W181042	コーチング論・トレーニング学演習I		2	2.0	3	春AB	応談	前村 公彦, 河合 季信, 松元 剛, 谷川 聡, 木内 敦詞, 松尾 博一, 中山 紗織	コーチング学およびトレーニング学における理論と方法論に関する理解を深めるとともに、この分野における実践研究の基礎を学ぶ。	対面			体育専門学群	
W181052	コーチング論・トレーニング学演習II		2	2.0	3	秋AB	応談	前村 公彦, 河合 季信, 松元 剛, 谷川 聡, 木内 敦詞, 松尾 博一, 中山 紗織	コーチング学およびトレーニング学に関する内外の文献に当たりながら、これまでの研究方法論の問題点を探るとともに、新しいコーチング学研究およびトレーニング学研究のあり方や方法論を創造する。	対面			体育専門学群	
W181062	コーチング論・トレーニング学演習III		2	2.0	4	秋AB	応談	前村 公彦, 河合 季信, 松元 剛, 谷川 聡, 木内 敦詞, 松尾 博一, 中山 紗織	コーチング学およびトレーニング学に関するあり方や方法論を理解し、現在のスポーツ界や体育実践における問題点を抽出し、それらを解決するための方略について論考する。	対面			体育専門学群	
W181072	体操コーチング論演習I		2	2.0	3	春AB	月1,2	体育・芸術工リア 本谷 聡	体操に関する基本的な知識を得るとともに、指導現場に役立つ観点からの実践的な研究法について理解を深める。	対面			体育専門学群	
W181082	体操コーチング論演習II		2	2.0	3	秋AB	月2, 水3	体育・芸術工リア 本谷 聡	体操に関する国内の文献を抄録し、討議する。また、研究の進め方について学習する。	対面			体育専門学群	
W181092	体操コーチング論演習III		2	2.0	4	秋AB 秋C	木2 木1,2	体育・芸術工リア 本谷 聡	体操に関する国外の文献や資料を抄録し、討議する。また、論文作成のための知識や技能を養う。	対面			体育専門学群	
W181102	体操競技コーチング論演習I		2	2.0	3	春AB	月1,2	体育・芸術工リア 渡辺 良夫, 齋藤 卓	体操競技の技の技術、評価、採点法などについて学習する。	対面			体育専門学群	
W181112	体操競技コーチング論演習II		2	2.0	3	秋AB	月2, 金1	体育・芸術工リア 渡辺 良夫, 齋藤 卓	体操競技の男子6種目女子4種目に関して、基礎技術と発展技について理解を深める。	対面			体育専門学群	
W181122	体操競技コーチング論演習III		2	2.0	4	秋AB	木2, 随時	体育・芸術工リア 渡辺 良夫, 齋藤 卓	体操競技の技術指導について、理論を理解し実習を行う。	対面			体育専門学群	
W181162	水泳競技コーチング論演習I		2	2.0	3	春AB	水2,3	体育・芸術工リア 仙石 泰雄, 角川 隆明	水泳に関する基礎的な科学データ収集法およびデータ分析方法を学習する。また、水泳に関する文献を収集・購読し、実践現場につながる研究課題を探る。	対面			体育専門学群	
W181172	水泳競技コーチング論演習II		2	2.0	3	秋AB	水3, 金1	体育・芸術工リア 角川 隆明	水泳に関する内外の文献をもとに研究課題を設定し、課題解決の方法論および論文作成法を学習する。	対面			体育専門学群	
W181182	水泳競技コーチング論演習III		2	2.0	4	秋AB	随時	仙石 泰雄	水泳の指導方法論について、学校体育の教材研究、水中運動プログラム作り、競技トレーニング・コーチングの指導法等を理解する。	対面			体育専門学群	
W181222	野外運動論演習I		2	2.0	3	春AB 春C	水2,3 集中	体育・芸術工リア 渡邊 仁	キャンプの計画・運営・評価等の方法論について実践を通して学習するとともに、キャンプ技術と指導法について習得する。	対面			体育専門学群	
W181232	野外運動論演習II		2	2.0	3	秋AB 秋C	水3 集中	体育・芸術工リア 坂本 昭裕, 高橋 達己	冬季野外運動の代表的種目であるスキーを取り上げ、冬季野外運動の計画・運営・評価等の方法論について実践を通して学習するとともに、スキー技術と指導法について習得する。	対面			体育専門学群	
W181242	野外運動論演習III		2	1.0	3	春AB	月2	体育・芸術工リア 渡邊 仁	野外運動における各種活動種目に関して、内外の研究をもとに、研究法を主体とした学習を進める。また、学生個人の研究課題に即応した資料研究や討議を行うことにより、野外運動の研究技法を身につける。	対面			体育専門学群	
W181252	野外運動論演習IV		2	1.0	3	秋AB	月2	体育・芸術工リア 坂本 昭裕	野外運動における各種活動種目に関して、内外の研究をもとに、研究法を主体とした学習を進める。また、学生個人の研究課題に即応した資料研究や討議を行うことにより、野外運動の研究技法を身につける。	対面			体育専門学群	
W181262	バスケットボールコーチング論演習I		2	2.0	3	春AB	水3	体育・芸術工リア 吉田 健司, 池田 英治	バスケットボールの技術、戦術、体力、およびそれらのトレーニング法と指導法について、文献精読や討議を通じて専門的知識を学修する。また、アカデミック・ライティングの手法についても学修する。	対面			体育専門学群	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
W181272	バスケットボールコーチング論演習II		2	2.0	3	秋AB	水3	体育・芸術エリア 吉田 健司, 池田英治	バスケットボールの技術, 戦術, 体力, およびそれらのトレーニング法と指導法について, 文献精読や討論を通じて専門的知識を学修する。また, アカデミック・ライティングの手法についても学修する。	対面			体育専門学群	
W181282	バスケットボールコーチング論演習III		2	2.0	4	秋AB	木4,5	体育・芸術エリア 吉田 健司, 池田英治	バスケットボールの技術, 戦術, 体力, およびそれらのトレーニング法と指導法について, 文献精読や討論を通じて専門的知識を学修する。また, アカデミック・ライティングの手法についても学修する。	対面			体育専門学群	
W181322	ハンドボールコーチング論演習I		2	2.0	3	春AB	水2,3	体育・芸術エリア 會田 宏, 藤本元, 加藤 亮介	ハンドボールのコーチングに関する文献を精読し, 合理的なコーチングおよびトレーニングに必要な理論について学習する。	対面			体育専門学群	
W181332	ハンドボールコーチング論演習II		2	2.0	3	秋AB	水3, 金1	体育・芸術エリア 會田 宏, 藤本元, 加藤 亮介	コーチングおよびトレーニングの場において解決すべき問題を科学的に分析・検討する方法, 得られた知見を発表する方法について学習する。	対面			体育専門学群	
W181412	ラケットバドミントンコーチング論演習I		2	2.0	3	春AB	水2,3	体育・芸術エリア 川村 卓, 安藤 真太郎, 吹田 真士, 三橋 大輔, 奈良隆章, 野中 由紀	ラケットバドミントンスポーツの特性を学び, その指導法の基礎を演習する	対面			体育専門学群	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
W181422	ラケットバドミントンコーチング論演習II		2	2.0	3	秋AB	随時	川村 卓, 安藤 真太郎, 吹田 真士, 三橋 大輔, 奈良 隆章, 野中 由紀	ラケットバドミントンに特有な戦略, 戦術, 戦法等を学び, 合わせてその指導法について演習する。	対面			体育専門学群	
W181432	ラケットバドミントンコーチング論演習III		2	2.0	4	秋AB	随時	川村 卓, 安藤 真太郎, 吹田 真士, 三橋 大輔, 奈良 隆章, 野中 由紀	ラケットバドミントンの卒業論文の完成に向けて, 必要な研究方法を具体的に学ぶ。	対面			体育専門学群	

卒業研究領域科目【健康体力学分野】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
W182042	運動生理学演習I		2	2.0	3	春AB秋A	応談	武政 徹, 西保 岳, 藤井 直人	運動生理学に関する内外の研究文献を学習し, 運動やスポーツの生理学的理解を深めると共に, 卒業研究に役立てる。	対面			体育専門学群	
W182052	運動生理学演習II		2	2.0	4	春AB秋A	火1, 2 応談	武政 徹, 西保 岳, 藤井 直人	運動生理学に関する内外の研究文献を学習し, 運動やスポーツの生理学的理解を深めると共に, 卒業研究に役立てる。	対面			体育専門学群	
W182062	運動生化学演習I		2	2.0	3	春AB秋A	随時	岡本 正洋, 松井 崇	運動生化学に関する内外の研究文献を学習し, 運動やスポーツの生化学的理解を深めると共に, 卒業研究に役立てる。	対面			体育専門学群	
W182072	運動生化学演習II		2	2.0	4	秋AB	随時	岡本 正洋, 松井 崇	運動生化学に関する内外の研究文献を学習し, 運動やスポーツの生化学的理解を深めると共に, 卒業研究に役立てる。	対面			体育専門学群	

学群総合科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
W815011	体育科学シンポジウム		1	1.0	1	秋C	水3, 4	体育・芸術エリア 中村 剛, 松井 崇	体育, スポーツ, 健康に関連する諸科学について, その現状, 社会貢献活動, 将来展望などをめぐってシンポジウムを展開する。ディスカッションなどの協同的な高みを通じて関係諸領域の知と本学群の可能性や意義について理解を深める。	必修, 体育専門学群生に限る 対面			体育専門学群	

体育・スポーツ学領域

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
W870011	体育哲学		1	1.0	2	秋B	月1, 2	体育・芸術エリア 深澤 浩洋, 坂本 拓弥	「体育とは何か」について, 哲学的にその概念基盤に論ずるとともに, 体育の可能性に言及する。体育の実践原理や意義を知り, 現状を批判的に検討する思考態度を身につけることを目指す。	教職「保健体育」必修 体育専門学群生に限る 他の学群生で教職(保健体育)を履修している者は受講可。			体育専門学群	
W870021	体育史・スポーツ人類学		1	2.0	2	秋AB	火3, 木2	体育・芸術エリア 大林 太郎, 山口 拓, 田 暁潔	日本及び諸外国の体育・スポーツについて, 今日にいたるまでの人間とスポーツの関わり歩みについて学ぶ。	対面			体育専門学群	
W870031	武道学I		1	1.0	2	春AB	月4	体育・芸術エリア 大石 純子	武道学において重要な「武道」「形・型(かた)」「流派」等の諸概念を学習したうえで, 武道の歴史を特に柔道・剣道・弓道を取り上げ鳥瞰的に把握する。このことにより日本独自の運動文化である武道の特徴を理解する。	体育専門学群生に限る 対面			体育専門学群	
W870041	スポーツ社会学		1	2.0	1	秋AB	木・金3	体育・芸術エリア 清水 諭, 下竹 亮志	現代社会におけるスポーツの位置とその文化的特徴について, 消費社会, メディアとの関係で捉え, 人種, 民族, ジェンダー, ナショナルイデオロギイといった社会学の視点から人々の生きている日常を踏まえて, 分析・考察を行う。	体育専門学群生は必ずW870041を登録すること。 BB11811と同一。 対面 履修者が290名を越えた場合は, 体育専門学群生及び社会学類3, 4年生を優先する。			体育専門学群	
W870051	体育・スポーツ経営学		1	2.0	2	春AB	火4, 5	体育・芸術エリア 清水 紀宏, 姜 泰安	体育・スポーツの経営管理をめぐる基礎的理論について, 経営の構造論・スポーツ事業論及び経営過程論を中心に講義する。	対面			体育専門学群	
W870061	体育・スポーツ心理学		1	2.0	1	春AB	火5, 水3	体育・芸術エリア 國部 雅大, 雨宮 伶	身体運動の心理的特性, 運動学習理論, パーソナリティおよび動機づけを中心として, スポーツ・体育心理学の基本事項を理解する。	対面			体育専門学群	
W870071	スポーツ産業学		1	1.0	2	春AB	火3	体育・芸術エリア 仲澤 真	レジャー・スポーツ産業を対象に人文, 社会科学的な視点から検討し, レジャー・スポーツ産業に関する基本的な知見を学習するとともに, 当該領域における当面の問題を明らかにし, 基本的研究課題を理解する。	体育専門学群生に限る 対面			体育専門学群	
W870081	スポーツ政策学I		1	1.0	2	春AB	水2	体育・芸術エリア 齋藤 健司, 成瀬 和弥	スポーツ政策に関する諸事象を理解するとともに, スポーツ政策学の基礎理論を学ぶ。	社会教育主事 対面			体育専門学群	

コーチング学領域

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
W880011	運動学I		1	1.0	2	春AB	水3	体育・芸術エリア 中村 剛, 新竹 優子	運動ができる(うまくなる)ようになるための, 現場の学習場面および指導場面において重要になる発生運動学(スポーツ運動学)の基礎理論を学習する。運動学Iでは, 運動形成や運動発達, 運動質などの理論を学ぶとともに, さらに, 創発と促発の身体知について学習して, 現場の運動の指導実践において重要な身体知理論の基礎を学ぶ。	教職「保健体育」必修 対面			体育専門学群	
W880021	運動学II		1	1.0	2	秋AB	月4	体育・芸術エリア 新竹 優子, 中村 剛	運動ができる(うまくできる)ようになるための実践理論であり, 現場の学習場面および指導場面において重要になる発生運動学(スポーツ運動学)の基礎理論について学習する。運動学IIでは, 運動の学習位相論についてより深く学習する。	対面			体育専門学群	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
W880031	一般コーチング学	1	1.0	2	春AB	月2	体育・芸術エリア	前村 公彦, 中山 紗織	優れたコーチになるために必要とされる諸要因、すなわち指導行動と育成行動を理解し、選手の競技力と人間性を向上させ続ける能力を身につける。具体的には、選手やチームを導くリーダーシップと適切な人間関係を構築する能力、選手を取り巻く様々な内外的および外的な環境要因をマネジメントする能力、コーチング現場において発生する諸問題を合理的に解決する問題解決型思考スキル、勝利を継続的に獲得していくためのマインドセット、リスクマネジメントについて学習する。	一般トレーニング学を受講しているものに限って受講を認める。250名を超えた場合は体育専門学群生を優先する。 対面			体育専門学群	
W880041	一般トレーニング学	1	1.0	2	春AB	木2	体育・芸術エリア	前村 公彦, 中山 紗織	スポーツトレーニングを効果的に推進するため適切な目標と課題の設定法、課題解決法や手段の選択と創造法、時間資源と時系列的な関連性を考慮した計画立案法、効果的な実践法、トレーニング成果のアセスメント法(測定・評価・診断法)について知るとともに、体力トレーニング、技術トレーニング、戦術トレーニングなどの個別理論・方法論について学習する。	一般コーチング学を受講しているものに限って受講を認める。250名を超えた場合は体育専門学群生を優先する。 対面			体育専門学群	
W880051	個別コーチング学	1	1.0	1	秋C	木・金3	体育・芸術エリア	大山 圭悟, 池田 英治	個別のスポーツ種目におけるコーチングについて概説する	対面			体育専門学群	
W880061	個別トレーニング学	1	1.0	1	秋C	火1,2	体育・芸術エリア	大山 圭悟, 池田 英治	個別のスポーツ種目におけるトレーニングについて概説する	対面			体育専門学群	

健康体力学領域

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
W890011	解剖学	1	1.0	1	春AB	月2	体育・芸術エリア	平田 浩祐	体育を専攻とする学生に必要な知識として、身体の構造とその働きについて講義する。	体育専門学群生に限る 対面	△	受講者数又は教室等に余裕がある場合に限る	体育専門学群	
W890021	生理学	1	1.0	1	春AB	月1	体育・芸術エリア	武政 徹, 小野 誠司, 藤井 直人, 松井 崇, 岡本 正洋	本講義においては筋系、神経系、循環系、呼吸系に関する構造と機能について、将来運動に伴うからの構造と機能変化を理解するのに役立つ器官について解説する。	対面			体育専門学群	
W890031	運動生理学	1	1.0	1	秋AB	月2	体育・芸術エリア	西保 岳, 武政 徹, 藤井 直人	運動時の筋、神経、呼吸、循環、体温調節反応の基本的な生理反応およびトレーニングによって生じる変化に関する生理学的メカニズムを概説する。	体育専門学群の1,4年生を優先します。受講生が多くなった場合、受講制限をすることがあります。 対面			体育専門学群	
W890041	運動生化学	1	1.0	1	秋AB	金4	体育・芸術エリア	征矢 英昭, 岡本 正洋, 松井 崇	スポーツや運動時の代謝、内分泌、自律神経応答の変化、並びにトレーニングによるそれらの変容(適応)がパフォーマンスや健康に及ぼす効果等を中心に講義する。	対面			体育専門学群	
W890051	運動栄養学I	1	1.0	1	秋AB	水3	体育・芸術エリア	麻見 直美, 下山 寛之	運動・スポーツと栄養・食生活の基礎を学ぶ	350人程度を上限とし超える場合は、体育専門学群生を優先し、他学群学生は抽選とする。 対面、オンライン(オンデマンド型)			体育専門学群	
W890061	スポーツバイオメカニクスI	1	1.0	1	春AB	木3	体育・芸術エリア	小池 関也, 平山 大作	身体運動を力学的に考えるための基礎となる諸法則を説明し、バイオメカニクスの観点から運動を分析する基礎的知識を講義する。	対面			体育専門学群	
W890071	体力学	1	1.0	2	秋AB	火4	体育・芸術エリア	小野 誠司, 木塚 朝博, 鍋倉 賢治	体力には、いろいろな捉え方や考え方があり、その概念の多様性と構成の複合性を解説することによって、発達適齢段階、スキルレベル、競技レベルに応じて適切に科学的知識を利用できる力を習得する。	対面			体育専門学群	
W890081	健康増進学	1	1.0	2	春AB	月1	体育・芸術エリア	大藏 倫博, 辻 大士	中年・高齢者の健康づくり・疾病予防・介護予防の観点から健康増進学について概説する。前半は、中年期の疾病予防や健康づくりの観点から、健康度を評価する方法や健康関連体力の測定法について説明する。後半は、高齢期の介護予防の観点から、生活機能および健康と関連が深いと考えられる身体・認知機能について解説する。	体育専門学群の2年生以上に限る 対面			体育専門学群	
W890091	体育測定評価学(統計学を含む)	1	1.0	2	秋AB	水1	体育・芸術エリア	角田 憲治	競技スポーツから健康科学においてデータがどのように収集され、活用されているかを国内外の知見から学ぶ。基本的な統計解析における数理モデルの理論と、統計ソフトおよびプログラミングを用いた分析方法を学習する。また、機械学習によるデータ分析の実際について触れる。	対面			体育専門学群	
W890101	スポーツ医学I(救急処置を含む)	1	1.0	2	春AB	金2	体育・芸術エリア	渡部 厚一, 高橋 英幸	スポーツ医学の基礎的知識を習得し、救急蘇生法についても学ぶ。	教職「保健体育」必修 体育専門学群生に限る。他の学群生で教職(保健体育)を履修している者は受講可。			体育専門学群	
W890111	衛生・公衆衛生学	1	1.0	2	春AB	水1	体育・芸術エリア	門間 貴史	ある程度の生物学的な説明とともに、人間集団を単位として健康がいかに社会的な出来事と関連しているか、またどのようにして社会の中で健康をまもっていくかを学ぶ。	教職「保健体育」必修 対面			体育専門学群	
W890121	健康教育学(精神保健を含む)	1	1.0	2	春AB	金4	体育・芸術エリア	武田 文久, 野 謙也, 門間 貴史	少年高齢社会である我が国の地域・職域・学校における健康課題を理解し、それらの課題解決のための主要施策である健康教育について理論と実践を学習する。	教職「保健体育」必修 対面			体育専門学群	
W890131	学校保健学I(小児保健及び学校安全を含む)	1	1.0	2	秋AB	月3	体育・芸術エリア	片岡 千恵	学校保健の意義および構成等について解説する。また、学校保健活動の展開に必要な基本的内容について講義する。	教職「保健体育」必修 対面			体育専門学群	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
W900005	学校体育実技	5	1.0	2	春AB	火1,2		長谷川 悦示, 三田部 勇	体づくり運動、器械運動、陸上競技、水泳、球技、武道、ダンスの領域についてそれぞれ体育授業で扱えるような運動の実技を行い、学校体育の運動領域について包括的な理解を図る。	原則として、教員免許取得希望者に限る。 教職「保健体育」必修。対面	△	教員免許状取得目的の者に限る	体育専門学群	

実技理論・実習(A群)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
W910115	体操	5	1.0	1	秋AB	火1,2	体育・芸術工リア	本谷 聡, 狩野 莉奈	基礎体力の養成及び全身的な動きの学習を基礎として、合理的で効果的な運動の行い方を理解し、様々な対象やねらいに応じて運動を創意・工夫し、構成することのできる指導能力を養う。	男子後半・女子後半クラス（教職希望者は履修が望ましい） 実務経験教員、対面			体育専門学群	
W910125	体操	5	1.0	2	秋AB	木4,5	体育・芸術工リア	本谷 聡, 沖田 祐蔵	基礎体力の養成及び全身的な動きの学習を基礎として、合理的で効果的な運動の行い方を理解し、様々な対象やねらいに応じて運動を創意・工夫し、構成することのできる指導能力を養う。	男子前半・女子前半クラス（教職希望者は履修が望ましい） 実務経験教員、対面			体育専門学群	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
W910215	ダンス		5	1.0	1	秋AB 秋C	火1,2 集中	体育・芸術エリリア	寺山 由美	ダンス・身体表現の基礎的な理論を理解し、リズムダンス・創作ダンスの学習を中心に基礎的な技能を習得するとともに、指導法についても学習する。	男子後半・女子後半クラス（教職希望者は履修が望ましい）教室は決定後周知対面		体育専門学群	
W910225	ダンス		5	1.0	2	秋AB 秋C	木4,5 集中	体育・芸術エリリア	寺山 由美	ダンス・身体表現の基礎的な理論を理解し、リズムダンス・創作ダンスの学習を中心に基礎的な技能を習得するとともに、指導法についても学習する。	男子前半・女子前半クラス（教職希望者は履修が望ましい）対面		体育専門学群	

実技理論・実習(B群)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
W920315	陸上競技		5	1.0	1	春AB	木4,5	体育・芸術エリリア	木越 清信, 大山 圭悟	各種走・各種跳躍・各種投てき種目の運動学習を通じて、技術の向上を図り、トレーニング法、技術、更に陸上運動の取扱いなどについて、基礎的な学習をする。	男子前半クラス対面		体育専門学群	
W920325	陸上競技		5	1.0	1	秋AB	木4,5	体育・芸術エリリア	大山 圭悟, 木越 清信	各種走・各種跳躍・各種投てき種目の運動学習を通じて、技術の向上を図り、トレーニング法、技術、更に陸上運動の取扱いなどについて、基礎的な学習をする。	女子対面		体育専門学群	
W920335	陸上競技		5	1.0	2	秋AB	火1,2	体育・芸術エリリア	大山 圭悟, 木越 清信	各種走・各種跳躍・各種投てき種目の運動学習を通じて、技術の向上を図り、トレーニング法、技術、更に陸上運動の取扱いなどについて、基礎的な学習をする。	男子後半クラス対面		体育専門学群	
W920415	器械運動		5	1.0	1	春AB	木4,5	体育・芸術エリリア	渡辺 良夫, 齋藤 卓, 内田 隼人	中・高等学校学習指導要領に示された器械種目(マット, 跳び箱, 鉄棒, 平均台)を中心にして、その技能内容を取り上げ、技能の習熟を図ると共に、指導法についても学習する。	男子前半クラス対面		体育専門学群	
W920425	器械運動		5	1.0	1	秋AB	木4,5	体育・芸術エリリア	金谷 麻理子	中・高等学校学習指導要領に示された器械種目(マット, 跳び箱, 鉄棒, 平均台)を中心にして、その技能内容を取り上げ、技能の習熟を図ると共に、指導法についても学習する。	女子対面		体育専門学群	
W920435	器械運動		5	1.0	2	秋AB	火1,2	体育・芸術エリリア	齋藤 卓, 渡辺 良夫, 内田 隼人	中・高等学校学習指導要領に示された器械種目(マット, 跳び箱, 鉄棒, 平均台)を中心にして、その技能内容を取り上げ、技能の習熟を図ると共に、指導法についても学習する。	男子後半クラス対面		体育専門学群	

実技理論・実習(C群)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
W930515	水泳競技		5	1.0	1	春AB	木4,5	体育・芸術エリリア	角川 隆明	各種泳法を学習し水泳の基礎的な技能を身につける。アクアティクススポーツを体験し、生進スポーツとして水泳を理解する。更に、水泳指導法の理論と実習を学習する。	男子後半クラス（教職希望者は履修が望ましい）対面	健康診断書を初回授業時に提出すること。	体育専門学群	
W930525	水泳競技		5	1.0	2	秋AB	火1,2	体育・芸術エリリア	角川 隆明	各種泳法を学習し水泳の基礎的な技能を身につける。アクアティクススポーツを体験し、生進スポーツとして水泳を理解する。更に、水泳指導法の理論と実習を学習する。	男子前半（教職希望者は履修が望ましい）対面	健康診断書を初回授業時に提出すること。	体育専門学群	
W930535	水泳競技		5	1.0	3	秋AB	木4,5	体育・芸術エリリア	角川 隆明	各種泳法を学習し水泳の基礎的な技能を身につける。アクアティクススポーツを体験し、生進スポーツとして水泳を理解する。更に、水泳指導法の理論と実習を学習する。	女子（教職希望者は履修が望ましい）対面	健康診断書を初回授業時に提出すること。	体育専門学群	

実技理論・実習(D群)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
W940715	バレーボール		5	1.0	1	春AB	木4,5	体育・芸術エリリア	中西 康己	バレーボールの基礎技術の正しい動作を習得するとともに、6人制バレーボールのルールや競技特性の理解を深め、ゲーム展開の方法を実習する。	女子対面		体育専門学群	
W940735	バレーボール		5	1.0	2	秋AB	木4,5	体育・芸術エリリア	中西 康己	バレーボールの基礎技術の正しい動作を習得するとともに、6人制バレーボールのルールや競技特性の理解を深め、ゲーム展開の方法を実習する。	男子後半クラス対面		体育専門学群	
W940745	バレーボール		5	1.0	1	秋AB	火1,2	体育・芸術エリリア	秋山 央	バレーボールの基礎技術の正しい動作を習得するとともに、6人制バレーボールのルールや競技特性の理解を深め、ゲーム展開の方法を実習する。	男子前半クラス対面		体育専門学群	
W940815	バスケットボール		5	1.0	1	春AB	木4,5	体育・芸術エリリア	池田 英治	バスケットボールの技術や戦術の構造、及びルールを理解し、1980年代にイギリスで、1990年代にはアメリカで画期的な授業方法としてその成果が確認された戦術学習を中心にゲーム展開の方法とそれらの指導を実習する。具体的には、バスケットボールにおける個々人の技能の獲得および集団でのゲームパフォーマンスの向上を図るために、ボール非保持者の「サポートプレイ」に着目した「ゲーム-発問-練習-ゲーム」という流れによる授業展開を通して最新の学習法を学修する。	女子対面		体育専門学群	
W940835	バスケットボール		5	1.0	2	秋AB	木4,5	体育・芸術エリリア	吉田 健司	バスケットボールの技術構造、ルールを理解し、技術、戦術習得を中心にゲーム展開の方法とそれらの指導法を実習する。	男子後半クラス対面		体育専門学群	
W940845	バスケットボール		5	1.0	1	秋AB	火1,2	体育・芸術エリリア	池田 英治	バスケットボールの技術構造、ルールを理解し、技術、戦術習得を中心にゲーム展開の方法とそれらの指導法を実習する。	男子前半クラス対面		体育専門学群	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
W940915	ハンドボール		5	1.0	1	春AB	木4,5	医学エリア 藤本 元, 會田 宏	ハンドボールの競技特性および教育特性を理解するとともに、ゲームを中心とした実習の中で、基礎的な技術・戦術力を習得し、それらの指導法を学修する。	女子 対面			体育専門学群	
W940935	ハンドボール		5	1.0	2	秋AB	木4,5	医学エリア 加藤 亮介	ハンドボールの競技特性および教育特性を理解するとともに、ゲームを中心とした実習の中で、基礎的な技術・戦術力を習得し、それらの指導法を学修する。	男子後半クラス 対面			体育専門学群	
W940945	ハンドボール		5	1.0	1	秋AB	火1,2	医学エリア 會田 宏, 藤本 元	ハンドボールの競技特性および教育特性を理解するとともに、ゲームを中心とした実習の中で、基礎的な技術・戦術力を習得し、それらの指導法を学修する。	男子前半クラス 対面			体育専門学群	

実技理論・実習(E群)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
W951015	サッカー		5	1.0	2	秋AB	火1,2	体育・芸術エリア 安藤 梢, 高柳 昂平	サッカーの特性を理解し、女子に適した技術、戦術を段階的に習得する。習得した技術、戦術を、レベルに応じてゲームで発揮できるようにする。	女子 対面			体育専門学群	
W951025	サッカー		5	1.0	2	春AB	木4,5	体育・芸術エリア 中山 雅雄	サッカーの技術、戦術の基本を習得する。ルールの理解と各種ゲームの行い方と指導方法を学習する。	男子後半クラス 対面			体育専門学群	
W951045	サッカー		5	1.0	1	秋AB	木4,5	体育・芸術エリア 高柳 昂平	サッカーの技術、戦術の基本を習得する。ルールの理解と各種ゲームの行い方と指導方法を学習する。	男子前半クラス 対面			体育専門学群	
W951115	ラグビー		5	1.0	2	秋AB	火1,2	体育・芸術エリア 嶋崎 達也	女子が行うことができるラグビーの実践を学習し、併せて指導能力を身につける。	女子 対面			体育専門学群	
W951125	ラグビー		5	1.0	2	春AB	木4,5	体育・芸術エリア 嶋崎 達也	ラグビーの技術、戦術の基礎を習得する。ルールの理解とゲーム展開の方法及び指導法を学習する。	男子後半クラス 対面			体育専門学群	
W951145	ラグビー		5	1.0	1	秋AB	木4,5	体育・芸術エリア 古川 拓生	ラグビーの技術、戦術の基礎を習得する。ルールの理解とゲーム展開の方法及び指導法を学習する。	男子前半クラス 対面			体育専門学群	